

安全データシート



1. 化学品及び会社情報

法人名 : 国立研究開発法人産業技術総合研究所
 住所 : 東京都千代田区霞が関 1-3-1
 担当部門 : 計量標準総合センター 計量標準普及センター 標準物質認証管理室
 担当者 : 認証標準物質担当
 電話番号 : 029-861-4059 ファックス番号 : 029-861-4009
 緊急連絡電話番号 : 同上

作成日 : 2013年4月30日

改正日 : 2020年1月31日

整理番号 : 4221001

化学品の名称(製品名) : 認証標準物質 NMIJ CRM 4221-a ジブチルスルフィド
 (燃料中硫黄分分析用—高純度)
 (Dibutyl Sulfide)

推奨用途及び使用上の制限 : 本標準物質は、燃料中に含まれる硫黄分分析において精度管理、分析機器の校正に用いることができる。試験・研究用以外には使用しないこと。
 本標準物質は、標準物質（日本産業規格（JIS）Q0030に定められるもの）である。

2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 引火性液体 : 区分4
 皮膚腐食性/刺激性 : 区分2
 目に対する重篤な損傷性/目刺激性 : 区分2A

GHSラベル要素 :



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 可燃性液体
 皮膚刺激
 強い眼刺激

注意書き : [安全対策]

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
 炎および熱源から遠ざけること。
 保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面、保護マスクなどを着用すること。
 取扱いは換気の良い場所で行うこと。
 できるだけ密閉された設備または局所排気装置を使用すること。
 火気厳禁
 取扱い後はよく手を洗うこと。

環境への放出を避けること。

〔応急措置〕

火災の場合には適切な消火方法をとること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。

皮膚に付着した場合：直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。多量の水と石鹼で洗うこと。

暴露又はその懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。

〔保管〕

涼しく換気の良い冷暗所で保管すること。

〔廃棄〕

関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。

都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

上記で記載が無い危険有害性は分類対象外または分類できない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 単一製品
化学名又は一般名	: 硫化ジブチル
別名	: 硫化ジ- n -ブチル
化学特性	: $(\text{CH}_3\text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_2)_2\text{S}$
分子量	: 146.29
CAS 番号	: 544-40-1
含有量	: 99.9 %以上
官報公示整理番号(化審法)	: 2-474
官報公示整理番号(安衛法)	: 公表

4. 応急措置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	: 直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。多量の水と石鹼で洗うこと。
眼に入った場合	: 水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
飲み込んだ場合	: 多量の水を飲ませて吐かせる。直ちに医師の手当てを受ける。
応急処置をする者の保護	: 個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消火剤	: 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂。
火災時の特有の危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム（またはガス）が発生

特有の消火方法	<p>することがある。</p> <p>: 火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。</p>
消火を行う者の保護	<p>: 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。防火服、耐熱服、防護衣、空気呼吸器、循環式酸素呼吸器、ゴム手袋、ゴム長靴等の保護具を使用する。</p>

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	<p>: 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。</p>
保護具及び緊急時措置	<p>: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入したりしないようにする。</p>
環境に対する注意事項	<p>: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。悪臭が強いので、周辺の住民に漏洩が生じたことを通報する等の適切な処置を行う。</p>
回収、中和	<p>: 乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。こぼした場所は、適量の次亜塩素酸ナトリウム溶液で処理後、大量の水で洗い流す。</p>
二次災害の防止策	<p>: 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。火花を発生しない安全な器具を使用する。</p>

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	<p>: 火気厳禁。 高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避ける。</p>
局所排気・全体換気	<p>: 蒸気やミストが発生する場合は、発生源を密閉し局所排気装置を設置する。</p>
安全取扱注意事項	<p>: 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。 漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに蒸気を発生させない。 使用後は容器を密閉する。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。 吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れたりしないように、適切な保護具を着用する。 屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。</p>
保管	

- 適切な保管条件 : 直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。強酸化性物質、火源の近くに保管しない。
 遮光し、5℃ - 35℃で清浄な場所に保存すること。
 換気の良い場所で容器を密閉し保管する。火気厳禁。火源の近くに保管しない。強酸化性物質との混触禁止。
- 安全な容器包装材料 : ガラス

※標準物質としての適切な保管条件、使用に関する注意事項については、認証書を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない

許容濃度 (物質名)

- ・ ACGIH TLV-TWA : 設定されていない
- ・ 日本産業衛生学会勧告値 : 設定されていない
- ・ OSHA PEL TWA : 設定されていない

設備対策

換気・排気 : 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。

貯蔵上の注意 : 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。

保護具

- 呼吸器の保護具 : 有機ガス用防毒マスク、空気呼吸器
- 手の保護具 : 不浸透性保護手袋
- 目の保護具 : 側板付き保護眼鏡 (必要によりゴーグル型)
- 皮膚及び身体の保護具 : 長袖保護衣、保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

- ・ 外観 : 液体
- ・ 色 : 無色
- ・ 臭い : 含硫物特有の強い不快臭
- ・ pH : データなし
- ・ 融点 : -76℃
- ・ 沸点 : 約 188℃
- ・ 引火点 : 62℃
- ・ 爆発範囲 : データなし
- ・ 蒸気圧 : データなし
- ・ 相対蒸気密度 (空気 = 1) : 5.08
- ・ 比重又は嵩比重 : データなし
- ・ 溶解度 : 溶媒に対する溶解性 : 水に不溶。エタノール、エーテルに混和。
- ・ n-オクタノール / 水分配係数 (log Po/w) : データなし
- ・ 自然発火温度 : データなし

- ・分解温度 : データなし
- ・燃焼性 : データなし
- ・粘度 : データなし
- ・密度 : 0.837~0.843 g/ml (20°C)

10. 安定性及び反応性

◇安定性

- ・通常条件で安定である。

◇反応性

- ・強酸化剤と接触すると発火の危険性がある。

◇危険有害反応性

- ・データなし

◇避けるべき条件

- ・日光、熱、裸火、高温、スパーク、静電気、その他発火源

◇混触危険物質

- ・強酸化性物質、火源の近くに保管しない。

◇危険有害な分解生成物

- ・一酸化炭素、二酸化炭素、硫黄酸化物

11. 有害性情報

急性毒性	経口 ラット LD50: 2220 mg/kg (RTECS)
	皮膚 ウサギ LD50: >5 gm/kg (RTECS)
皮膚腐食性/刺激性	皮膚刺激 ウサギ 500 mg/24H 中程度 (RTECS)

12. 環境影響情報

生態毒性

- ・データなし

分解性・濃縮性

- ・データなし

生体蓄積性

- ・データなし

土壌中への移動性

- ・データなし

オゾン層への有害性

- ・データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 焼却法
	可燃性油剤と共に、スクラバーを具備した焼却炉で焼却する。
	廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。なお上記方法による処理ができない場合は都道府県知事の許可を得た専門の

廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号 : 該当なし
 国連分類 : -
 品名 : -
 容器等級 : -
 ICAO/IATA : 該当なし
 海洋汚染物質 : 該当なし
 注意事項 : 直射日光を避け、落下、転倒等による漏洩及び火気に十分注意し、慎重に運搬する。

15. 適用法令

- ◇消防法
 - ・危険物第4類 第2石油類（非水溶性）危険等級3
- ◇労働安全衛生法
 - ・令別表第一の4 危険物（引火性の物）

16. その他の情報

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、全ての情報を網羅しているわけではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は情報提供を目的としており、取扱い上のいかなる保証をなすものではありません。